

式 辞

厳しかった冬が終わり、新しい息吹が感じられるこの良き日に、大阪府教育庁指導主事 赤堀隆 様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席賜りここに大阪府立りんくう翔南高等学校 第八回卒業証書授与式を挙行できますことを心から感謝申し上げます。

本日ここに（二二〇）名の卒業生を送り出すことができました。これもひとえに日頃より皆様に暖かいご支援をいただいているおかげでございます。高いところからではございますが、御礼申し上げます。保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。皆様の慈しみを一身に受けこのように立派に成長されました。さぞお喜びのことと拝察し心からお祝い申し上げます。また、これまで、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。お子様の卒業後も引き続き、りんくう翔南高等学校を温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはどのような気持ちで今日という日を迎えているのでしょうか。今日という日は生涯の中でも数少ない特別な日です。高校生活の一場面がよみがえってきたり、卒業後のことを思い描いたりしていることでしょうか。毎日の授業、修学旅行、体育祭、国際交流、翔南祭、クラブ活動、登下校で友と語りあったこと、アルバイトで頑張ったこと、泣いたあの日のこと、心通った嬉しさに抱き合っただけ喜んで、時に夢中な恋もあったのではないのでしょうか。その一つひとつはかけがえのないものであり、みなさん一人ひとりの心のアルバムでもあります。みなさんの頑張る姿はいつも家族や周囲の仲間、我々教職員を勇気づけ感動や喜びを与えてくれました。また、その過程をへてみなさんは立派に成長しました。八期生の皆さんからは総じて、生きる力を感じることができます。

さて、皆さんが歩み出すのはどのような社会でしょうか。今年が改元の年です。いよいよ新たな年号で日本社会の新時代の幕が開きます。世の中はさまざまな価値観の変化により伝統的に受け継がれてきたシンプルな社会からライフスタイルの幅が拡大した多様な社会へと変わってきています。その一方で「自分の人生を自分自身で選択しなければならない」という課題が個人に突きつけられています。変化が激しく多様な社会では答えは一つでなく常にグローバルな視点と柔軟な発想・創造性が求められます。自分の価値観を普遍的なものだと捉えず、経験や学びを通して変化させてください。加えて、社会の変化は常態です。変化はコントロールできませんし、その対応には悪戦苦闘を強いられる場合があります。しかし、その先頭に立つ、改革の担い手となることで変化はコントロールできます。みなさんは卒業後、こうした状況の中を生きていくこととなります。

「卒業」それは、一つのことの終わりを告げる哀感（あいかん）あふれる行事です。同時にそれは新たな人生、大きな社会へのスタートの日でもあります。それでは、新たな人生のスタートにあたり三つのメッセージを送ります。一つ目は【時間】についての話です。皆さんは今を生きていますが今は過去と繋がっており未来とも繋がっています。時間を大

切にして、思いやりの気持ちを忘れず今を全力で生き、時に過去を振り返り、みなさんを愛してくれた人みなさんを育ててくれた環境に感謝してください。そして幾つになっても未来を夢見て常に学び成長して行ってください。二つ目は【場所】についての話です。人は縁を感じる場所で生きてゆきます。みなさんは今日まで大阪府泉南市樽井のりんくう翔南高等学校に縁があり生活していました。この学校がみなさんの母校であり、今後の長い人生の中で心の拠り所となる温かい場所です。本日ここを巣立ち縁のある場所で活躍してゆきます。その舞台は、日本中、世界中、いや近々には【はやぶさ2号】も【リュウグウ】に着陸しましたし、宇宙空間かもしれません。みなさんの活躍する舞台は無限大に広がっています。次は【使命】についての話です。人生において運命的な出会いが必ずあります。喜びを分かち合える出会いばかりではありません。困難な状況と出会うこともあります。さまざまな出会いの積み重ねの中で、やがて「私はこれをしなければならない」という使命を見つけることができます。その時から皆さんはその使命を果たすために周囲と協力しながら一人ひとり自分独自の人生を歩むこととなります。思い・願い・希望を使命に高め、二十一世紀を力強く、思いやりをもって生き抜くことを期待します。

最後に、卒業生のみなさん、一人ひとりがこの社会になくてはならない大切な人であることを忘れないでください。皆さんの前途が洋々たるものであることを信じ、将来のご多幸を心から祈念して、卒業式の式辞といたします。

平成 31年 2月 27日

大阪府立りんくう翔南高等学校長
藤田 繁也